

「最近の機械貿易動向(3月)～機械輸出伸び率14ヶ月連続プラス～」

日本機械輸出組合 2018.5.17

平成30年3月の機械輸出額は4兆8,412億円、対前年同月比2.9%増と、14ヶ月連続でプラスとなった。これは、①北米、韓国・台湾向けを除く4地域向けがプラス成長となったこと、②自動車をはじめ、主要な13輸出業種がプラスとなったことなどによる。為替・営業日要因が7.1%の減少寄与要因だったことを考慮すると、実質的な伸び率は10.0%増となった。平成30年4月の為替・営業日要因は1.5%の減少寄与要因となっているが、5月9日発表の貿易統計速報によれば4月上中旬の全商品輸出は10.0%増であった。

I 要約

1. 全商品貿易動向(図表1)

- ① 全商品輸出額:7兆3,827億円(前年同月比 [以下同じ] 2.1%増、16ヶ月連続プラス)
- ② 全商品輸入額:6兆5,857億円(0.6%減、15ヶ月ぶりマイナス)
- ③ 貿易収支:7,970億円黒字、2ヶ月連続

2. 機械貿易動向

(1) 機械輸出入動向(図表2)

- ① 機械輸出額:4兆8,412億円(2.9%増、14ヶ月連続プラス)
為替・営業日要因を除いた実質的伸び率:10.0%増(18ヶ月連続プラス)
- ② 機械輸入額:2兆887億円(0.8%増、13ヶ月連続プラス)

(2) 為替・営業日動向

2018年3月に7.1%、4月に1.5%の減少要因、5月に4.8%の増加要因となる。

(3) 地域別動向

- ① 中国、ASEAN・南アジア、その他地域、EU向けの4地域向けがプラス(図表4、5)
- ② 北米向け:1.6%減、再びマイナス(図表4、5)
- ③ 中国向け:9.9%増、2ヶ月ぶりプラス(図表4、5)
- ④ ASEAN・南アジア向け:8.4%増、16ヶ月連続プラス(図表4、5、6、8、9)
- ⑤ EU向け:2.9%増、14ヶ月連続プラス(図表4、5)
- ⑥ 韓国・台湾向け:7.4%減、2ヶ月連続マイナス(図表4、5、6、7)
- ⑦ その他地域向け:3.0%増、9ヶ月連続プラス(図表4、5、10)

(4) 業種別動向(図表11)

上位21業種中13業種がプラス。そのうち5業種が二桁の伸び

(5) 機種別動向(図表12、13)

- ① 工作機械(中国、北米、ASEAN・南アジア向け中心、6ヶ月連続上位)、電動機(中国、北米向け中心)、原動力機械(ASEAN・南アジア、韓国・台湾向け中心)、繊維機械(中国、ASEAN・南アジア向け中心)等が大きくプラス
- ② 工作機械以外に3ヶ月以上連続して上位機種はなし
- ③ 船舶、通信機械部分品等が大きくマイナス

(6) 機械輸入動向(図表14)

- ① 機械輸入額上位12機種のうち、5機種がプラス
- ② そのうち乗用車、航空機・部品等、半導体製造装置の3機種が二桁のプラス

II トピックス

1. 中国自動車販売の伸びが減速

中国の2017年の自動車販売台数は前年比3%増の2,887万台となった。全体の伸びは低い水準にとどまった一方、新エネルギー車（NEV）は53%増の77万台と大きく伸びた。2018年の伸びも3%程度にとどまると見られている。

中国は2019年から、いわゆるNEV規制が開始される。さらに政府は、2025年にはNEVの販売を700万台まで拡大する計画を掲げている。そのため、自動車メーカー各社は急ピッチで対応を急いでいる。

2. ASEAN 域内統合が進展、経済の好調が続く。

「ASEAN 経済共同体（AEC）」が発足して3年が経過し、域内統合を深めるASEAN経済は好調を持続している。

インドネシアの2017年の経済成長率は前年比5.07%となった。インフラ開発の遅れでやや伸び悩んだが、個人消費は回復しつつあり、2018年は5.3%成長になると予測されている。

マレーシアは輸出が大幅に増え、前年比5.9%成長となった。シンガポールとマレーシア間を結ぶ高速鉄道（HSR）建設に、世界的な注目が集まっている。

フィリピンは前年比6.7%増と高い水準を保った。製造業が高い伸びを示した。ドゥテルテ大統領は、3年間で3兆6,000億ペソをインフラ整備に投じることを表明している。

タイは3.9%増と過去5年間で最高の経済成長となった。輸出が5.5%増と好調で、経済をけん引した。自動車販売や観光業も回復しつつある。今後は「東部経済回廊（EEC）計画」の進展が注目される。

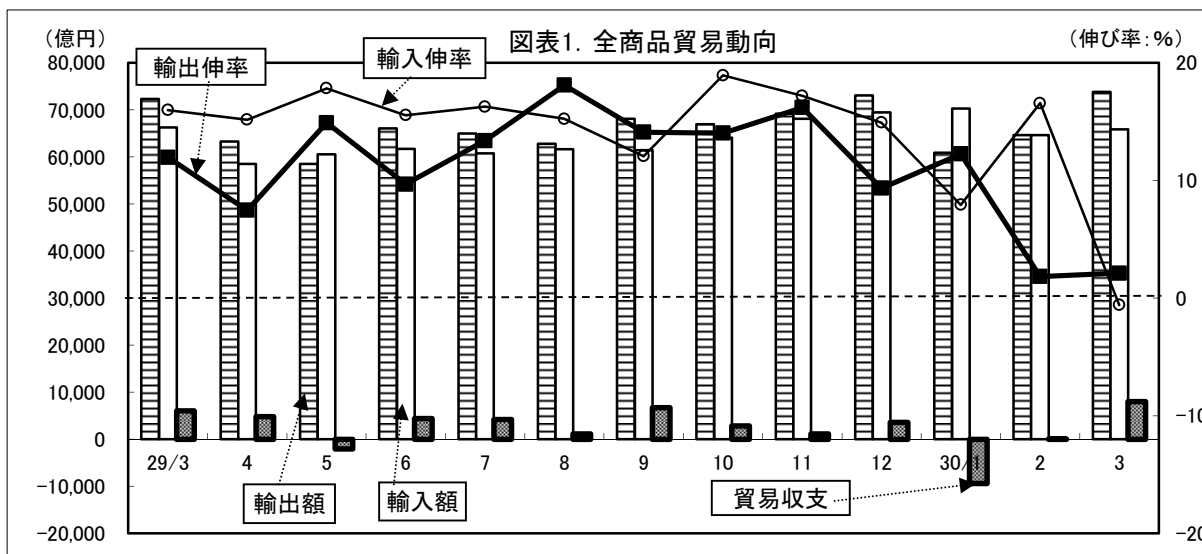
ベトナムは前年比6.8%増だった。過去10年間で最も高い水準となった。IT産業を中心とした製造業が14.4%増と好調だった。

IMFは、2018年度のASEAN主要5カ国の成長率は5.3%程度と高水準を維持するとみている。

Ⅲ 個別動向

1. 全商品貿易動向～輸出は16ヶ月連続プラス、輸入は15ヶ月ぶりマイナス～

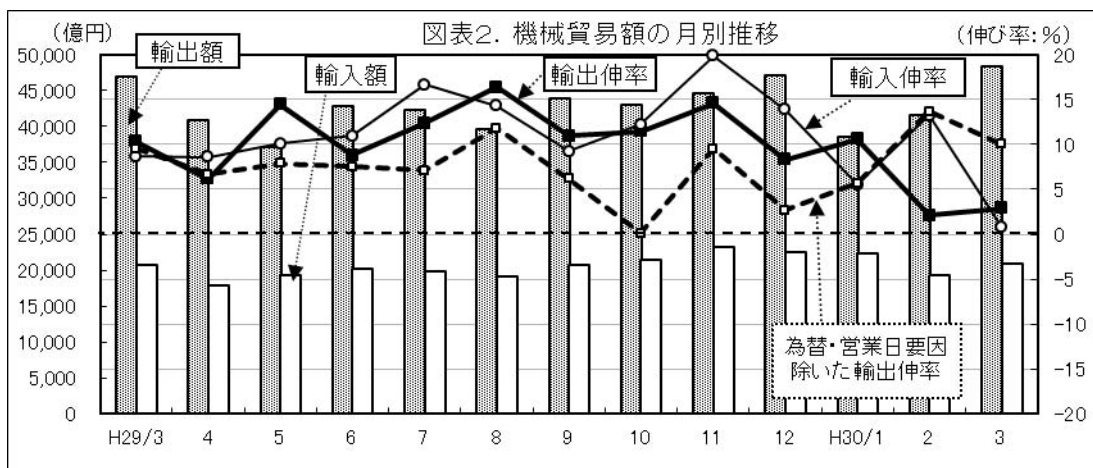
- 1) 平成30年3月の全商品輸出額は**7兆3,827億円**、前年同月比(以下同じ)**2.1%増**と16ヶ月連続でプラスとなった(2月1.8%増)。これは、全輸出額の約23%を占める輸送用機器(1.7%減)等がマイナスとなったものの、約22%を占める一般機械(10.2%増)、約17%の電気機器(3.2%増)、約11%の鉄鋼・非鉄金属等原料別製品(4.6%増)等がプラスとなったためである。
- 2) 輸入額は**6兆5,857億円**、**0.6%減**と15ヶ月ぶりにマイナスとなった(1月16.6%増)。これは、全輸入額の約24%を占める原油等鉱物性燃料(7.0%増)が15ヶ月連続でプラスとなったものの、約14%の電気機器(6.4%減)、約9%の原料別製品(4.7%減)等がマイナスとなったことによる。
- 3) この結果、輸出額から輸入額を差し引いた貿易収支は、約7,970億円と2ヶ月連続で黒字となった。(2月は26億円の黒字)。



2. 機械貿易動向

(1) 機械輸出入動向～輸出は14ヶ月連続、輸入も13ヶ月連続でプラス～

- 1) 全商品輸出額の約66%を占める3月の機械輸出額は**4兆8,412億円**、**2.9%増**と14ヶ月連続でプラスとなり(2月2.1%増)、その水準は、リーマンショック前(2008年3月)と比べると**92.1%**となって、前月に比べて4.3ポイント改善した(1月87.8%)。なお、為替・営業日要因を除いた**実質的伸び率は10.0%増**であった。
- 2) 一方、全商品輸入額の約32%を占める機械輸入額は、**2兆887億円**、**0.8%増**と13ヶ月連続でプラスとなり(2月13.2%増)、リーマンショック前(2008年3月)の水準に比べ、21.9%増となっている。

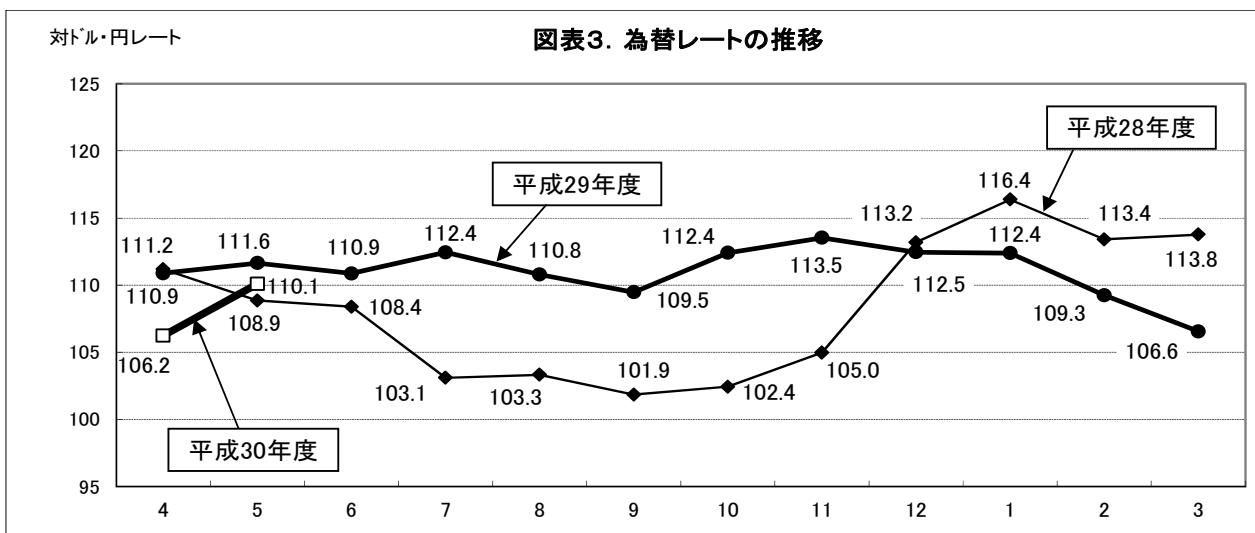


(2) 為替・営業日動向～3月は7.1%の減少要因、4月は1.5%の減少要因～

1) 2018年3月は1ドル=106.6円となり、前年に比べ6.3%の円高となった。また、対ユーロは131.3円と前年に対して8.9%の円安となり、合わせて約2.7%の為替減少要因となった。営業日は前年に対して1日少ないため、約4.5%の減少要因となり、合計で約7.1%の減少要因となる。3月の輸出額は2.9%増であったことから、実質的伸び率は10.0%増と18ヶ月連続プラスとなった(2月13.7%増)。

2) 2018年4月は1ドル=106.2円で前年比4.2%の円高、対ユーロは130.9円で前年比10.2%の円安となり、合わせて約1.5%の為替減少要因となった。営業日は前年と同じため、合計で約1.5%の減少要因となる。

3) 2018年5月は、対ドルが5月16日17:00時点の110.1円とすれば、前年に対して1.3%の円高、また、対ユーロは130.5円で7.6%の円安となり、合わせて約0.2%の為替減少要因となる。営業日は前年に対して1日多いため、約5.0%の増加要因となり、合計で約4.8%の増加要因となる。



(3) 地域別動向～中国、ASEAN・南アジア、その他地域、EU向けがプラス～

1) 機械輸出額の地域的動きをみると、①全体の23.7%を占める最大輸出先の北米向けでは、全体の約51%を占める自動車(0.1%増)がほぼ横這いとなり、産業機械(6.3%減)、航空機部品(8.4%減)等がマイナスとなって1.6%減となった。②22.1%を占める中国向けでは、産業機械(31.5%増)、自動車(8.7%増)、電子デバイス(6.7%増)等が増加して9.9%増となり、③15.2%のASEAN・南アジア向けは、インド(22.9%増)、インドネシア(22.3%増)等が大きく増加し、業種では、産業機械(26.1%増)、自動車(7.3%増)、電子デバイス(10.0%増)等がプラスとなり、8.4%増となった。④11.9%を占めるEU向けは、約36%を占める自動車(0.5%増)、産業機械(3.5%増)、理化学用機器等軽機械(20.3%増)等がプラスとなって2.9%増となり、⑤10.0%を占める韓国・台湾向けは、電子デバイス(1.0%増)がほぼ横這いとなったものの、産業機械(12.4%減)等が減少して7.4%減となった。⑥17.1%のその他地域向けでは、中南米(21.0%減)、アフリカ(15.7%減)等向けが大きくマイナスとなったものの、大洋州(35.6%増)、ロシア東欧等(24.1%増)がプラスとなり、機種では、船舶(27.5%減)が大きく減少したものの、自動車(9.9%増)、産業機械(8.9%増)等が増加して3.0%増となった。

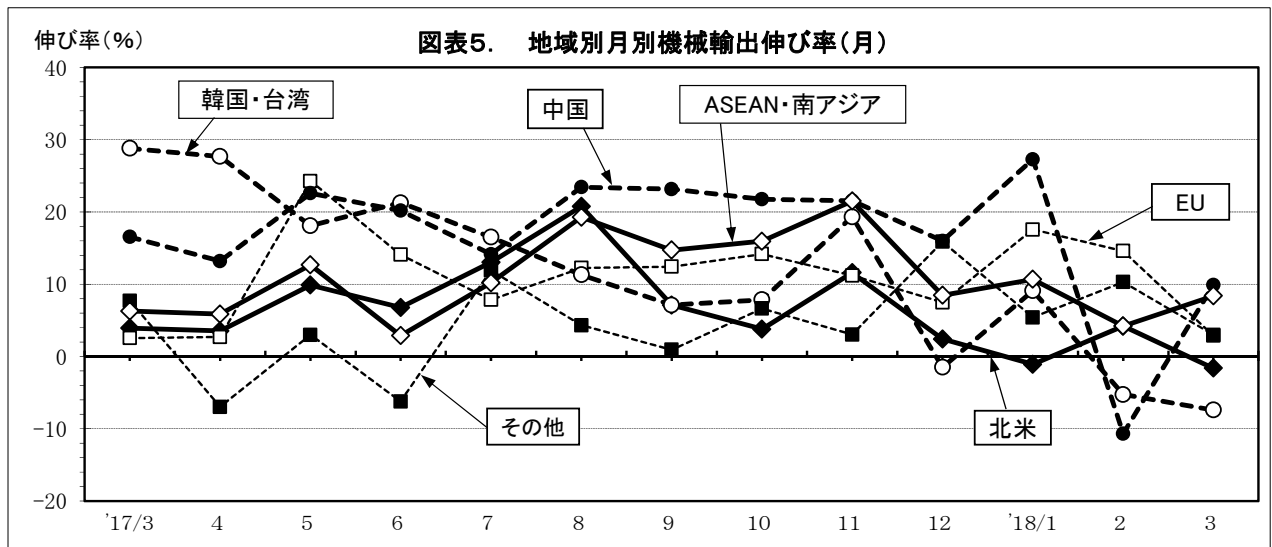
2) また、リーマンショック前の2008年3月の地域別輸出額と比較すると、中国、ASEAN・南アジア向けが100%を超え、北米、韓国・台湾向けが90%台、その他地域向けが70%台、EU向けが60%台となった。

図表4. 最近の地域別機械輸出動向

(単位: 億円)

	2018/1			2018/2			2018/3			対08年 3月比
	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	
全世界計	38,521	10.6	100.0	41,672	2.1	100.0	48,412	2.9	100.0	0.92
北米	8,704	▲ 1.1	22.6	10,792	4.2	25.9	11,456	▲ 1.6	23.7	0.96
中国	8,464	27.3	22.0	7,932	▲ 10.7	19.0	10,699	9.9	22.1	1.18
ASEAN・南アジア	5,666	10.7	14.7	6,154	4.2	14.8	7,348	8.4	15.2	1.17
EU	4,988	17.6	12.9	5,563	14.6	13.4	5,763	2.9	11.9	0.66
韓国・台湾	4,044	9.1	10.5	4,224	▲ 5.2	10.1	4,861	▲ 7.4	10.0	0.94
その他	6,654	5.4	17.3	7,007	10.3	16.8	8,285	3.0	17.1	0.72

は、2ヶ月連続で前年比10%以上プラス。

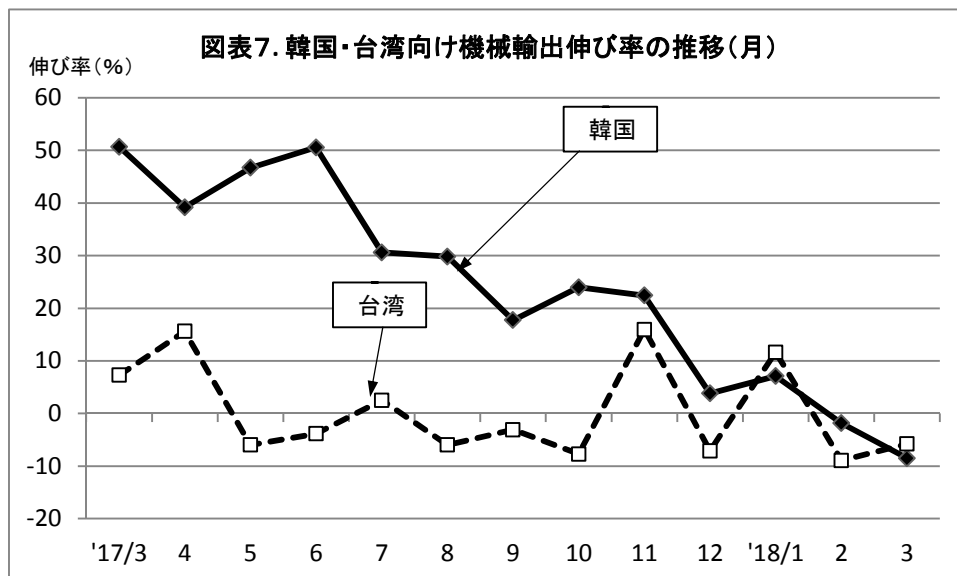


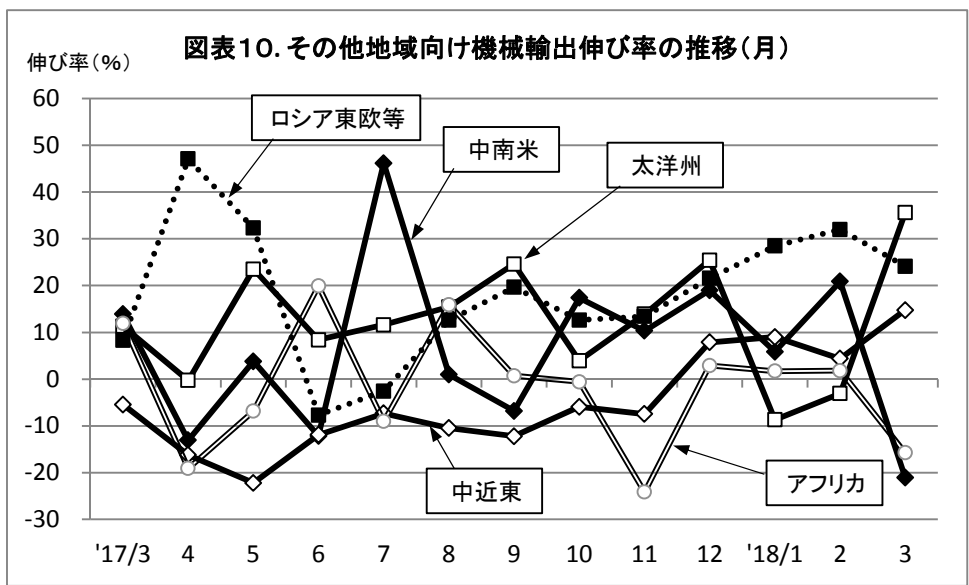
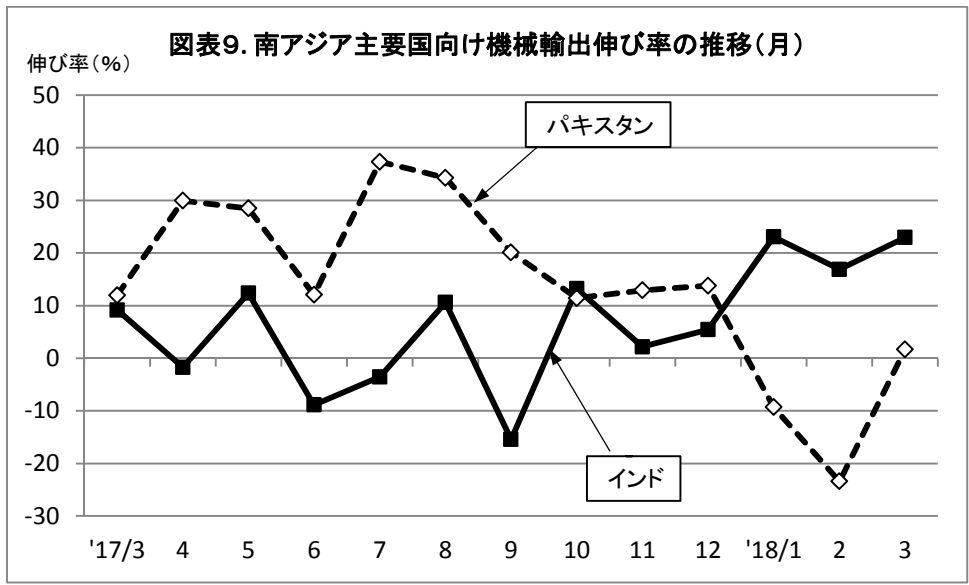
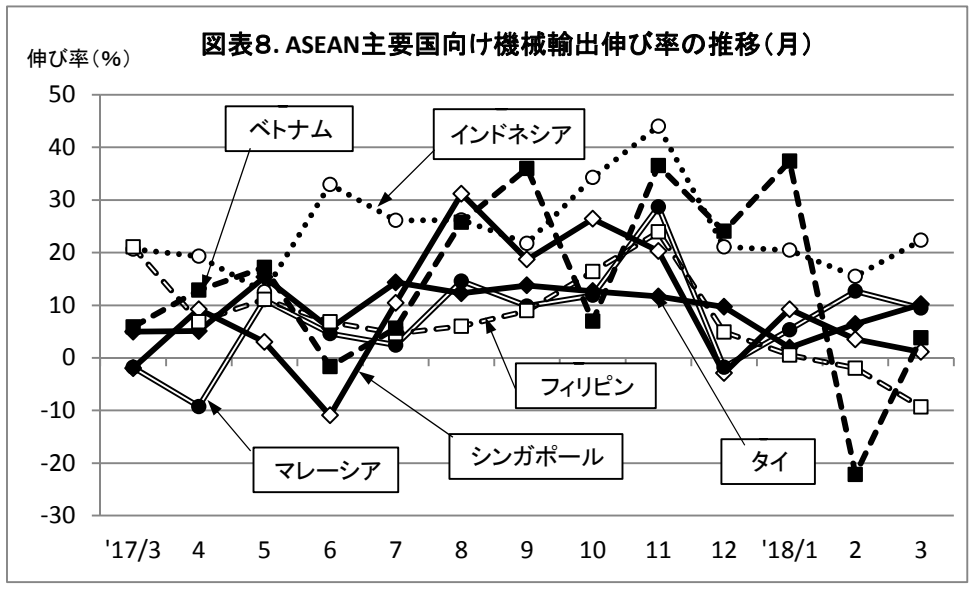
図表6. 韓国・台湾/ASEAN・南アジア/その他地域向け機械輸出の推移(月別)

(金額単位: 億円、%)

国名	2017/12		2018/1		2018/2		2018/3	
	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率
韓国	2,644	3.8	2,214	▲ 13.1	2,276	▲ 1.9	2,782	▲ 8.5
台湾	2,223	▲ 7.1	1,830	▲ 23.5	1,948	▲ 8.9	2,079	▲ 5.8
ASEAN・南アジア								
タイ	1,774	9.7	1,337	▲ 17.4	1,581	6.4	1,785	10.2
シンガポール	944	▲ 2.9	1,045	7.4	913	3.5	1,128	1.1
インドネシア	778	21.1	739	15.0	820	15.5	997	22.3
マレーシア	673	▲ 1.8	552	▲ 19.3	674	12.7	802	9.4
フィリピン	683	4.9	519	▲ 20.3	634	▲ 2.0	698	▲ 9.4
ベトナム	939	24.0	658	▲ 13.1	594	▲ 22.2	732	3.8
インド	500	5.4	431	▲ 9.2	492	16.9	671	22.9
パキスタン	206	13.8	98	▲ 45.6	108	▲ 23.4	176	1.7
その他地域								
中南米	1,945	19.0	2,266	38.6	2,140	20.9	2,324	▲ 21.0
中近東	1,902	7.9	1,547	▲ 12.3	1,756	4.4	2,294	14.8
大洋州	1,245	25.4	1,134	14.3	1,350	▲ 3.1	1,664	35.6
ロシア東欧等	957	21.5	994	26.2	1,251	32.0	1,250	24.1
アフリカ	474	2.9	633	37.5	463	1.8	636	▲ 15.7

は、2ヶ月連続で前年同月比プラス(10%以上)





(4)業種別動向～21業種中13業種がプラス。うち工作機械等3業種が二桁の増加～

- 1)業種別では、自動車(4.5%増)、産業機械(8.6%増)をはじめ13業種がプラスとなり、前月に比べて5業種増加した。そのうち、建設機械(12.3%増)、工作機械(39.5%増)、陸用内燃機関(11.2%増)、繊維機械(20.6%増)、産業車両(16.0%増)の5業種が二桁の伸びとなり、機械全体では2.9%増となった。
- 2)リーマンショック前の水準を超えたのは航空機部品、鉄道車両、軽機械、医療機械、ベアリング、産業機械等12業種となった(2月は7業種)。他方、電子計算機が30%台、民生用電子機械が40%台の低い水準にある。

図表11 上位21業種の輸出額の動き

(単位:億円、%)

2018/1			2018/2			2018/3			対08/3 比
業種名	金額	伸び率	業種名	金額	伸び率	業種名	金額	伸び率	
自動車	12,901	7.8	自動車	15,775	10.6	自動車	16,478	4.5	0.90
産業機械	6,939	15.9	産業機械	7,581	▲ 6.1	産業機械	9,588	8.6	1.17
電子デバイス	3,067	5.7	電子デバイス	2,957	▲ 4.5	電子デバイス	3,428	4.3	0.86
軽電気機械	1,905	8.3	軽電気機械	1,985	▲ 8.1	軽電気機械	2,671	▲ 0.5	1.01
重電気機械	1,896	23.4	重電気機械	1,896	▲ 2.7	重電気機械	2,354	6.9	1.07
軽機械	1,447	13.6	軽機械	1,577	▲ 1.8	軽機械	1,906	7.4	1.33
民生用電子機械	1,261	3.7	建設機械	1,270	12.6	船舶	1,667	▲ 32.9	0.56
光学機械	1,123	▲ 3.7	民生用電子機械	1,258	▲ 8.9	建設機械	1,514	12.3	0.78
建設機械	1,148	20.2	光学機械	1,118	▲ 10.9	民生用電子機械	1,468	▲ 5.7	0.45
工作機械	711	58.6	船舶	1,099	▲ 1.4	光学機械	1,377	▲ 6.8	1.04
通信機械	589	20.9	航空機部品	878	31.2	工作機械	1,177	39.5	1.13
船舶	2,255	1.9	工作機械	841	42.2	航空機部品	746	▲ 10.2	1.91
航空機部品	580	▲ 13.0	通信機械	529	▲ 5.1	通信機械	597	▲ 11.8	0.64
医療機械	427	15.9	医療機械	497	2.6	医療機械	578	7.2	1.29
電子計算機	367	1.8	ベアリング	396	▲ 0.2	陸用内燃機関	504	11.2	1.06
ベアリング	374	12.4	陸用内燃機関	393	▲ 3.7	ベアリング	472	3.5	1.28
陸用内燃機関	369	19.3	電子計算機	382	▲ 15.4	電子計算機	425	▲ 11.7	0.39
繊維機械	220	33.5	繊維機械	223	▲ 5.2	繊維機械	271	20.6	0.95
農業機械	175	17.5	農業機械	208	12.7	農業機械	236	8.0	1.04
産業車両	105	20.2	鉄道車両	140	0.7	鉄道車両	144	▲ 11.2	1.70
鉄道車両	169	224.2	産業車両	127	12.8	産業車両	140	16.0	0.53
21業種合計	38,027		21業種合計	41,130		21業種合計	47,741		0.92

は2ヶ月以上連続で10%以上増加。・**産業機械**:半導体製造装置、印刷・製本機械、風水力機械、タービン
 ・**民生用電子機械**:デジカメ、TV、部品 ・**電子計算機**:パソコン、HDD・プリンター等部品 ・**軽機械**:試験・検査機、理化学用機器
 ・**軽電気機械**:白物家電、電子計測器、配電機器、電池 ・**光学機械**:その他の光学機器(半導体検査装置、レーザー等)、カメラ部品
 ・**通信機械**:通信機械部分品、受信変換・その他送受信機器

(5)機種別動向～工作機械、電動機、原動力機械等が大幅増、船舶、通信機械部分品等が大幅減～

- 1)10%以上の伸び率を示した機種のうち上位10機種は、①中国、北米、ASEAN・南アジア向け**工作機械**(39.5%増)、②中国、北米向け**電動機**(24.9%増)、③ASEAN・南アジア、韓国・台湾向け**原動力機械**(23.6%増)、④中国、ASEAN・南アジア向け**繊維機械**(20.6%増)、⑤韓国・台湾、中国向け**半導体製造装置**(16.8%増)、⑥中国、ASEAN・南アジア向け**その他の重電気機器・部分品**(16.0%増)、⑦その他地域、ASEAN・南アジア向け**産業車両**(16.0%増)、⑧北米、その他地域、EU、ASEAN・南アジア向け**建設機械**(12.3%増)、⑨EU、北米向け**TV**(12.3%増)、⑩北米、中国向け**陸用内燃機関**(11.2%増)であった。
- 2)一方、最も落ち込み幅が大きいのが、船舶(32.9%減)、通信機械部分品(20.3%減)等であった。

図表12. 伸び率上位機種(月50億円以上、前年比伸び率10%以上、10機種以内)

(単位:億円、%)

2018/1			2018/2			2018/3		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
鉄道車両	169	224.2	工作機械	841	42.2	工作機械	1,177	39.5
工作機械	711	58.6	航空機部品	878	31.2	電動機	220	24.9
産業用ロボット	172	52.5	乗用車	9,805	17.9	原動力機械	694	23.6
繊維機械	220	33.5	産業車両	127	12.8	繊維機械	271	20.6
受信変換その他送受信機器	123	28.2	農業機械	208	12.7	半導体製造装置	2,738	16.8
写真機の部分品・附属品	107	24.8	建設機械	1,270	12.6	その他の重電気機器・部分品	561	16.0
その他の重電気機器・部分品	443	23.7	電池	212	10.6	産業車両	140	16.0
半導体製造装置	2,276	22.4	機種合計	13,341	*32.0%	建設機械	1,514	12.3
電動機	152	22.2				TV	122	12.3
その他の配電制御装置	866	21.6				陸用内燃機関	504	11.2
機種合計	5,239	*13.6%				機種合計	7,941	*16.4%

は、2ヶ月連続で上位機種 * 機種合計の%は輸出額に占める割合
通信機械部分品:ゲートウェイ、ルーター等 **受信変換・その他送受信**:ルーター、LANスイッチ等ネットワーク関連機器
理化学用機器:物理・化学分析用機器の部分品、電気式分析機器等 **電動機**:業務用モーター
その他の光学機器:レーザー、半導体検査装置等 **その他の重電気機器・部分品**:重電機器部分品、交通管制用機器

図表 13. マイナス伸び率上位機種 (月10億円以上、10%減以上、10機種以内)

(単位: 億円、%)

2018/1			2018/2			2018/3		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
磁気カード・ディスク等	114	▲ 30.9	発電機	54	▲ 44.0	船舶	1,667	▲ 32.9
航空機部品	580	▲ 13.0	原動力機械	410	▲ 28.8	通信機械部分品	191	▲ 20.3
機種合計	694	* 1.8%	時計	63	▲ 27.6	受信変換その他送受信機器	164	▲ 19.9
			電気・電子計測器	393	▲ 21.8	磁気カード・ディスク等	144	▲ 18.8
			金属加工機械	249	▲ 20.5	デジカメ・ビデオ	329	▲ 16.4
			デジカメ・ビデオ	269	▲ 18.4	電気・電子計測器	485	▲ 14.5
			受信変換その他送受信機器	126	▲ 17.2	発電機	66	▲ 13.3
			磁気カード・ディスク等	127	▲ 15.8	電子計算機	425	▲ 11.7
			電子計算機	382	▲ 15.4	鉄道車両	144	▲ 11.2
			印刷・製本機械	756	▲ 14.3	航空機部品	746	▲ 10.2
			機種合計	2,829	* 6.8%	機種合計	4,361	* 9.0%

は、2ヶ月連続でマイナス上位10位内 * 機種合計の%は輸出額に占める割合

(6) 機械輸入動向～乗用車、航空機・部品等、半導体製造装置が大きくプラス～

1) 3月の機械輸入伸び率は0.8%増と13ヶ月連続でプラスとなり、上位12機種のうち5機種がプラスとなった。そのうち乗用車(44.4%増)、航空機・部品等(26.1%増)、半導体製造装置(38.1%増)の3機種が二桁のプラスであった。上位12機種のうち、マイナスとなったのは、電子デバイス(3.6%減)、自動車部品(7.0%減)、医療機械(7.3%減)等7機種であった。

2) なお、輸入額が輸出額を上回っている機種は金額順に電子計算機、航空機・部品等、携帯電話、医療機械、白物家電、配電機器、受信変換その他送受信機器、時計、TV、通信機械部分品の10機種となっている。

3) 地域別機械輸入額は、全体の35%を占める中国(11.9%減)、ASEAN・南アジア(6.3%増)、EU(14.8%増)、北米(14.8%増)、韓国・台湾(0.5%増)、その他地域(11.3%増)の順であった。

図表 14. 機械輸入額上位12機種

(単位: 億円、%)

2018/1				2018/2				2018/3			
機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア
電子デバイス	2,405	2.5	10.8	電子デバイス	1,976	▲ 0.5	10.2	電子デバイス	2,237	▲ 3.6	10.7
携帯電話	2,335	10.9	10.5	電子計算機	1,871	6.3	9.7	電子計算機	2,136	0.5	10.2
電子計算機	2,011	▲ 2.9	9.0	携帯電話	1,343	33.0	6.9	乗用車	1,337	44.4	6.4
自動車部品	1,241	▲ 1.6	5.6	自動車部品	1,134	20.6	5.9	航空機・部品等	1,244	26.1	6.0
乗用車	1,024	19.0	4.6	乗用車	882	5.7	4.6	携帯電話	1,190	1.4	5.7
航空機・部品等	878	▲ 6.1	3.9	航空機・部品等	828	▲ 11.5	4.3	自動車部品	1,114	▲ 7.0	5.3
白物家電	692	▲ 5.1	3.1	白物家電	677	31.8	3.5	医療機械	719	▲ 7.3	3.4
医療機械	660	5.3	3.0	医療機械	674	5.3	3.5	白物家電	665	▲ 14.3	3.2
配電機器	653	7.7	2.9	配電機器	570	21.5	2.9	半導体製造装置	560	38.1	2.7
受信変換その他送受信	564	▲ 13.5	2.5	受信変換その他送受信	513	▲ 10.4	2.6	配電機器	553	▲ 10.1	2.6
半導体製造装置	441	101.4	2.0	半導体製造装置	383	15.9	2.0	受信変換その他送受信	534	▲ 13.9	2.6
その他の配電制御装置	436	▲ 1.7	2.0	その他の配電制御装置	364	10.8	1.9	その他の配電制御装置	379	▲ 10.6	1.8
12機種合計	13,340		59.9	12機種合計	11,215		57.9	12機種合計	12,668		60.7

は対前年比が2ヶ月連続で10%以上増加。・白物家電: 民生用電気機械

・受信変換その他送受信機器: ネットワーク関連機器 ・その他の配電制御装置: スイッチ、配電盤、制御盤等